

心に残る文化財子ども塾 活動の概要と様子 ～ 島根県立松江ろう学校 ～

1. 概 要

5月28日(木)、島根県立松江ろう学校の児童・生徒さんを当センターにお迎えして『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。最初に縄文時代から古墳時代の話聞きながら、収蔵庫や展示室で出土品を見学しました。次に木器や鉄器の保存技術の話聞き、保存処理の機械を見学しました。その後に、保存処理体験として古銭のクリーニングを行いました。最後に古墳の丘古曾志公園で古墳の話聞きながら復元した古墳を見学しました。この授業を通じて、児童・生徒さんたちは、歴史や文化財についてより興味を持つようになりました。また、色々な保存技術により出土品が大切に保存されていることを学びました。

2. 学習の様子



縄文土器はざらざらする



文化財の保存はすごく大切で大変なんだ



古銭のクリーニング、ドキドキする



古墳に登ってみよう！

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- ・弥生時代からしじみを食べていたことがわかりました。
- ・古墳時代と縄文時代の物がたくさんあることが一番びっくりしました。それをレントゲン機械で分かりやすくよみとっていることや、砂糖水でつけるのが初めて知って面白かったです。
- ・昔の物を色々な方法で大切に保存していることが分かった
- ・古墳から出土した物について色々な説明をしてくださってありがとうございました。僕は歴史が好きなのですごく楽しかったです。
- ・古墳の勉強ができて良かったです。

- ・色々と分かって勉強になりました。社会の勉強の時に思い出したらいいなあと思っています。
- ・保存技術がすごく大変だなと思いました。

2)先生から

- ・事前に打合せの機会を複数回いただいて、ねらいに沿った活動を提案していただきました。
- ・特別にたくさんの配慮をいただいて、体験的で興味をひく活動を準備いただきました。
- ・事前に資料を提供いただいたことで、事前学習の質を高めることができました。
- ・保存処理など、これまでになかったメニューとお聞きし、感謝の気持ちでいっぱいです。

3)埋文センターから…

遺跡からたくさんの出土品が見つかったこと、身近にたくさんの遺跡があることを知ってもらえたと思います。また、体験活動を通じて、保存処理をして大切な文化財を守っていることを知ってもらえたと思います。今日の授業で、地域の歴史や文化財に興味を持ってくれるとうれしいです。